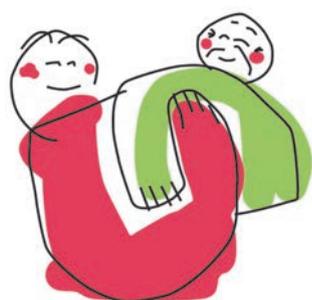


# プラットフォーム事業における 相談窓口の役割



---

とちぎ福祉プラザ モデルルーム  
福祉用具・介護ロボット 相談・活用センター  
NPO法人とちぎノーマライゼーション研究会  
伊藤 勝規

## とちぎ福祉プラザモデルルームのご紹介

---

### とちぎ福祉プラザ



県民の福祉活動の拠点  
福祉情報の発信  
竣工 2000年（H12）  
設置 栃木県

## とちぎ福祉プラザモデルルームのご紹介

### とちぎ福祉プラザ



活動団体  
栃木県社会福祉協議会  
日本赤十字社  
福祉関連団体

施設  
多目的ホール  
研修室・会議室  
モデルルーム  
授産品の販売

## とちぎ福祉プラザモデルルームのご紹介

### モデルルーム



バリアフリー情報の発信拠点として企画・設置

約125平米

年間来場者 約2500人  
(2021年度は737人)

相談件数 約200件  
(2021年度は194件)

【運営】  
NPO法人  
とちぎノーマライゼーション研究会

## とちぎ福祉プラザモデルルームのご紹介

### モデルルーム



- ◆ 高齢者・障がい者の自立支援を目的とする住環境整備情報の発信
- ◆ 福祉用具の展示・体験・相談
  - ・介護用ベッド
  - ・車いす
  - ・自助具
  - ・移乗用リフト ほか

## とちぎ福祉プラザモデルルームのご紹介

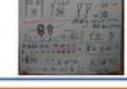
### モデルルーム



### モデルルームを利用したミニセミナー



# 展示協力企業を含む支援者・協力者への月次レポート

2018年 7月	とちぎ福祉プラザ モデルルームの報告	NPO法人 とちぎノーマライゼーション研究会
<p>来場者総数 【総数】283名 【団体】4件 千葉県野田市社会福祉協議会 70名（2日間） 高根沢東小学校4年生 14名 細谷小学校3年生 66名（2日間） 群馬県板倉町社会福祉協議会 20名</p>  <p>【個別相談内容】抜粋 ①企業で障害者の雇用をするのでトイレなどを整備する必要がある。補助制度はないか教えて欲しい。 ②他県福祉用具展示場から紹介で。栃木県内在住1人暮らしの父親の介護について相談したい。 ③要支援2の70代 在宅生活が次第に難しく感じてきた。入所できる場所はあるのか知りたい。 ④指に力がなくてシャワーとカウチの変更が出来ないので何か良いものはないか。 ⑤車いすへの移動のために設置してあるベッド固定型リフトを、訪問入浴で利用したいが可能か。また注意点や入浴に適したスリングシートの種類を知りたい。 ⑥海外に住んでいる母親が時々日本に遊びに来るが、足が悪いので前回来た時に移動がとても大変だった。車いすを貸してもらえるところを知りたい。 ⑦難病の診断を受けた本人と家族。立ち座りや起き上がりを楽にできる用具を知りたい。 ⑧母親入院中 要介護3。歩行車を使わせたいがどの様に選べばよいか。 ⑨建築関係者、障がい者や高齢者が使いやすい流し台について知りたい。 ⑩トイレでの立ち座りが大変になっている。介護保険を利用して補高便座を購入したいがどの様な手続きが必要か知りたい。 ⑪父親老人保健施設から自宅へ戻る予定。在宅で利用できる福祉用具と介護保険について知りたい。</p>		<p>☆topics☆</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●廊下掲示板</li> <li>①障がい者差別解消法推進条例の障がいごとの特性、お願したい合理的配慮 継続</li> <li>●福祉用具のヒヤリットについて 継続</li> <li>③研修会やイベントのお知らせ 福祉・保育のお仕事フェア・夏休み子供たちの福祉用具体験</li> <li>●勉強会（毎月第3木曜日開催 第78回）</li> <li>「車いすと摂食・嚥下の関係」松永製作所協力</li> <li>●子供たちの新企画 企画は小学校6年生。 「おけたまリーグ」～展示中の遊具おけたまを使い、子供たちが考えたルールで遊ぶ。 現在高得点者への景品を折り紙で作成中。</li> <li>●新しい展示 衝撃緩和型畳 宇都宮畳工業株式会社</li> </ul>  
		<p>NPO法人 とちぎノーマライゼーション研究会の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○研修会講師「介護保険住宅改修の基礎」TOTEMテック伊州支店主催 クアマ・福祉用具事業者対象 松本市</li> <li>○福祉用具総合評価センター委員会「新開発福祉用具の評価基準作成」</li> <li>○福祉用具プランナー研修講師「住宅改修各論」日本アビリティーズ協会主催 福祉用具事業者、P.T.、O.T 東京都渋谷区</li> <li>○福祉用具プランナーネットワーク 研究会 松本市</li> <li>○福祉用具専門相談員研修（応用編） 中国産通市</li> <li>○「福祉用具を安全に利用するためのハンドブック」完成 テクノイド協会昨年度事業</li> <li>○地域介護関係者研修会「立ち座りと歩行のための福祉用具の活用」 特費いずみ苑</li> </ul>

## とちぎ福祉プラザモデルルームのご紹介

### 特徴

運営主体がNPO法人であり、地域ニーズに応じた自由な発想で運営している

公共施設内にスペースのみ無償供与され、運営費用はNPOの自主財源

モデルルーム内での営業活動は禁止されているが、相談を受けての訪問、課題の解決につながる住環境の整備や福祉用具等の販売を行い、収益事業を行っている

## NPO法人 とちぎノーマライゼーション研究会のご紹介

### 活動の全貌



とちぎ福祉フラザ  
モデルルームの運営



☆

## NPO法人 とちぎノーマライゼーション研究会のご紹介

### 介護ロボットとのかかわり



### 福祉用具総合評価センター（CECAP）設立

2011年 介護ロボットを含む福祉用具の第三者評価を行う機関として、当研究会の一部門として設立

2014年 株式会社として独立

福祉用具・介護ロボット実用化支援事業（アドバイス支援事業等）

AMEDロボット介護機器開発・導入促進事業「安全評価基準標準化」「標準化推進」に関わる倫理審査

ほか開発段階における臨床評価等多数

## NPO法人 とちぎノーマライゼーション研究会のご紹介

### 介護ロボットとのかかわり 「介護ロボット地域フォーラムとちぎ」の実施



シンポジウム「介護ロボットとこれからの介護」

2022年12月22日

発表者 県内介護ロボット導入先進施設  
(高齢分野・障害分野)

厚生労働省・介護ロボット政策調整官  
県行政担当者 (高齢・障害)

参加者 36名

## NPO法人 とちぎノーマライゼーション研究会のご紹介

### 介護ロボットとのかかわり 「介護ロボット地域フォーラムとちぎ」の実施



介護ロボット・ICT 機器展示会

2022年12月22日

(一部機器を翌1月14日まで延長展示)

出展社数

28社

来場見学者数

203名



# NPO法人 とちぎノーマライゼーション研究会のご紹介

## 介護ロボットとのかかわり



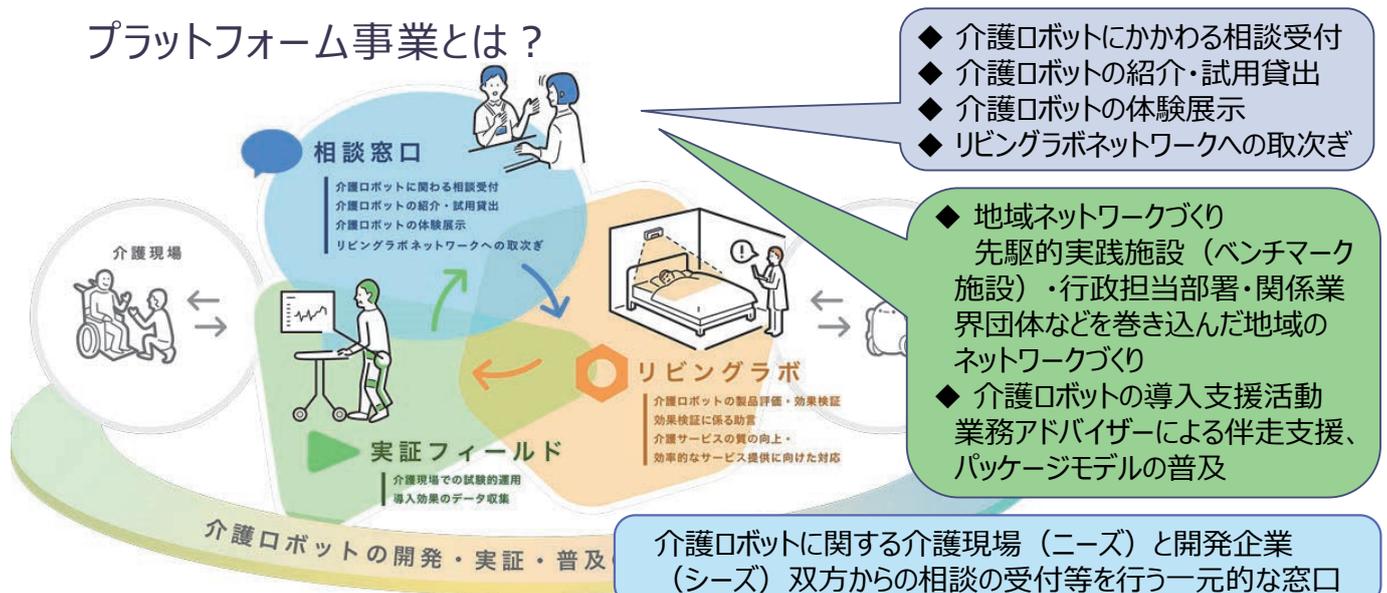
福祉用具・介護ロボット実用化支援事業

「福祉用具等の安全利用に関する情報の整理・報告・発信」

介護ロボットを含む福祉用具に関する事故やヒヤリハットの情報を集め、整理し、要因の分析をした上で、必要な対策が伝わりやすい内容に加工を行ったうえで、発信するテクノエイド協会の事業に参加。

## プラットフォーム事業における相談窓口

### プラットフォーム事業とは？



**A** 社会福祉法人 介護福祉情報協議会  
 介護福祉情報協議会  
 〒200-8585 東京都千代田区千代田1-1-1  
 TEL: 03-5561-1111  
 URL: <http://www.dohai.or.jp/>

**B** 社会福祉法人 高齢者社会福祉協議会  
 高齢者社会福祉協議会  
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
 TEL: 03-777-0012  
 アドレス: [robotaasyakyo.or.jp](http://robotaasyakyo.or.jp)

**C** 社会福祉法人 介護福祉情報協議会  
 介護福祉情報協議会  
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
 TEL: 03-5561-1111  
 URL: <http://www.dohai.or.jp/>

**D** 社会福祉法人 埼玉福祉情報協議会  
 埼玉福祉情報協議会  
 〒330-0855 埼玉県さいたま市浦和区高砂4-2-65  
 TEL: 048-822-1185  
 アドレス: [kaigomilp@kushu-saitama.or.jp](http://kaigomilp@kushu-saitama.or.jp)

介護ロボットに関する  
 介護現場（ニーズ）と  
 開発企業（シーズ）  
 双方からの相談の受付  
 等を行う一元的な窓口  
 です。

## 相談窓口は全国 17か所

とちぎセンターは  
 栃木県と福島県を担当

**リビングラボ**

- Care Tech ZENKOKU Lab  
 社会福祉法人 介護福祉情報協議会  
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
 TEL: 03-5561-1111  
 アドレス: [robotaasyakyo.or.jp](http://robotaasyakyo.or.jp)
- Future Care Lab in Japan  
 社会福祉法人 介護福祉情報協議会  
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
 TEL: 03-5561-1111  
 アドレス: [robotaasyakyo.or.jp](http://robotaasyakyo.or.jp)
- 介護福祉情報協議会  
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
 TEL: 03-5561-1111  
 URL: <http://www.dohai.or.jp/>

## プラットフォーム事業における相談窓口

### 取り組み

#### 各種相談への対応

- ◆ 介護ロボットの導入方法や活用方法に関する、介護現場からの相談。
- ◆ 介護ロボットを活用した介護現場の業務改善方法の紹介、導入事例、介護ロボットの製品情報や補助金・基金の紹介

#### 体験展示

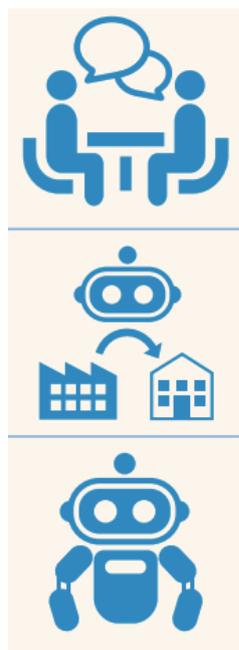
- ◆ 介護ロボットに触れ、体験することで、現場での活用をイメージできる体験型の展示場

#### 試用貸出

- ◆ 介護ロボットを試しに使用してみたいという介護現場を、試用貸出に協力している企業へ取り次ぎ。試用結果をレポート

#### 開発企業への支援

- ◆ 開発にあたっての補助金やPRイベント等の情報提供や、製品評価等を実施するリビングラボネットワークへの取次ぎ



## プラットフォーム事業における相談窓口

### 試用貸出



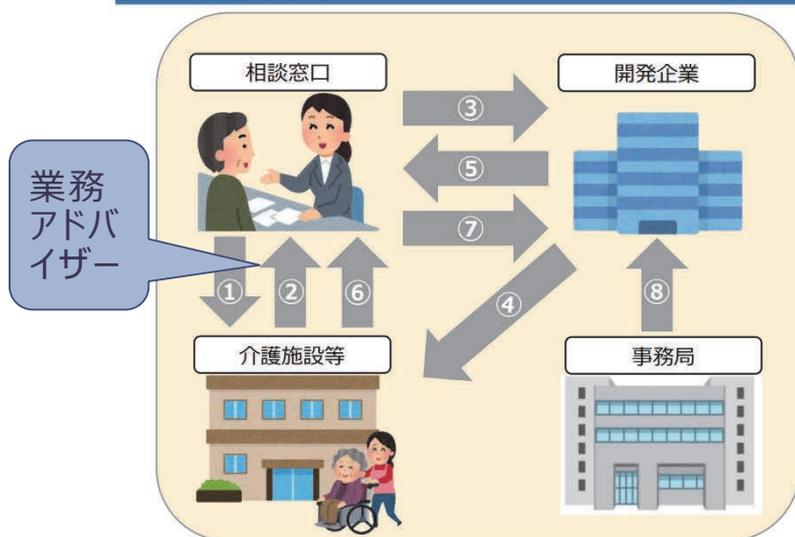
高齢介護事業所向け  
事業所負担は原則なし  
試用後にアンケートに協力していただく

施設の課題をアセスメントし、介護ロボットやICT機器が課題の改善につながる仮設をたてて、実証としての「試用」になるようにアドバイスする。

業務アドバイザーの役割

## プラットフォーム事業における相談窓口

### ■ 試用貸出のスキーム



各手続きはクラウドサービスを通じて実施。

- ① 試用貸出リストの周知
- ② 貸出の相談
- ③ 貸出の依頼
- ④ 貸出
- ⑤ 貸出結果の報告
- ⑥ アンケートの提出
- ⑦ アンケート結果の送付
- ⑧ 謝金の支払い※

※謝金の支払いのスキームはP80に記載。

# 伴走支援（業務アドバイザーの活動）

## 業務アドバイザーによる伴走支援

- ✓ 伴走型コンサルテーションによって介護ロボット導入の成功体験を有するベンチマークとなる施設（成功事例）を創出



## 体系的な整理

- ✓ 「パッケージモデル」のブラッシュアップ

### ■プロセスの整理のイメージ

P	手順 1	改善活動の準備をしよう
	手順 2	現場の課題を見える化しよう
	手順 3	実行計画を立てよう
D	手順 4	改善活動に取り組もう
C	手順 5	改善活動を振り返ろう
A	手順 6	実行計画を練りなおそう

## 成功事例の横展開

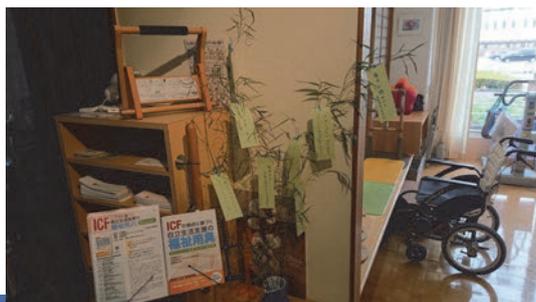
- ✓ 体系的な整理に基づく伴走支援の実施による第2のベンチマークとなる施設の育成
- ✓ 担当地域における介護ロボット導入施設のネットワーク構築
- ✓ 研修会などでの成功事例報告

### ■成功事例報告のイメージ



## とちぎ福祉プラザ モデルルーム

# 福祉用具・介護ロボット 相談・活用センター



とちぎ福祉プラザ モデルルーム

## 福祉用具・介護ロボット 相談・活用センター



とちぎ福祉プラザ モデルルーム

## 福祉用具・介護ロボット 相談・活用センター

topics

### 開設記念セミナー

### 「介護施設における新たなテクノロジーと導入の実際」



【日時】

令和4年6月11日(土曜日) 14:00～16:00

【内容】

「介護ロボットプラットフォーム」事業の説明

by 厚生労働省介護ロボット政策調整官

佐々木憲太氏

「介護施設における新たなテクノロジーと導入の実際」

by 安全なケア研究所・理学療法士 上田喜敏氏

【参加者】

40名

topics



**当日は、ぼくパルロが司会をしました！**



リハーサルの様子

**「クライアントの関心度は様々」を前提とした活動**

**【ステージ0】**～関心の無い段階

→窓口での体験。人材不足などの課題、生産性向上の必要性などの情報

**【ステージ1】**～関心があるが、具体的な情報収集や検討に至らない段階

→活用事例、課題の見える化、補助金などの情報

**【ステージ2】**～導入に向けて具体的に情報収集や検討をする段階

→課題解決に向けての情報の整理、現場での使い勝手の想定など

**【ステージ3】**～導入を決定し、機種選定や導入計画をする段階

→補助金申請方法、複数機種の性能比較、必要環境の整理などの情報

**【ステージ4】**～既に導入し現場への定着を推進する段階

→業務に落とし込んだ改善提案、使い方研修、

# プラットフォーム事業における 相談窓口の役割



ご清聴ありがとうございました